

# 二 弥井書店

## Miyaishoten



価格：小社書籍全点が2割引き 送料 実費

お支払方法 郵便局＊ご注文書お届けの際払い込み用紙同封いたします

銀行振込 三井住友銀行三田通支店 当座 1025041

ご注文方法 メール publish@miyaishoten.co.jp

電話 03-3452-8069

ファックス 03-3456-0346

ホームページからもご注文いただけます

右、QRコードを読み取りください



### ◇お願い

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせください。
- 3 ご注文の際はいずれかに「和漢比較文学会特別販売分」とご明記ください。
- 4 本カタログ以外の書籍は小社ホームページをご覧ください。
- 5 新刊情報やイベント情報をツイートいたします。よろしかったらフォローしてください。

三弥井書店 出版部 行

FAX: 03-3456-0346

# 和漢比較文学会用特別販売注文書

2021年11月25日まで

小社書籍全点が2割引きとなります。

本カタログ以外の書籍は小社ホームページをご覧ください。

右、QRコードを読み取りください



お申込み日: 年 月 日

書名	本体価格	部数

お名前

〒

TEL

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入ください。）

日付：要・不要

書類の宛名：

見積書 通・納品書 通・請求書 通

# 中国神話の深層

天地の循環図  
曼荼羅の世界

百田弥栄子著 A5判・カバー装・738頁 定価4500円+税

中国少数民族に脈々と伝承される神話世界。洪水神話と射日神話を軸に、様々な神話が有機的に結びつく伝承曼荼羅の構造をひもとき、根底に存在する人間の営みの本質・不变の真理へと導く。

内容案内

## ◆一 龍とその周辺◆

龍をめぐる神話

天女と龍女と白い鳥

龍脈をたどる馬—炭焼長者の物語—／觀音と龍／草薙剣の系譜

## ◆二 雷神と觀音と山神の周辺◆

鶴身の雷神から觀音への展開

雷神と觀音と山神と—日本の山岳信仰に寄せて—

雷神と山神の絆／オシラサマと龜神と土地神と

## ◆三 洪水神話と射日神話の周辺◆

射日・招日神話にかかる鍛冶文化の諸相

人類起源神話と洪水神話／射日神話

中国の女神をめぐる文化—長江以南を目配りして—

中国少数民族の創世神話—彝族の神話を典型として—

彝族系諸族の經典に見る神話の継承

## ◆四 神樹とその周辺◆

神樹と太極図／中国神話の古事記逍遙

## ◆五 銅鼓とその周辺◆

銅鼓と鍛冶—金屋子神への照射—

あばたと鍛冶—継子譚、蛇婿入譚を視野に入れて—

中国の神鷹と鍛冶—彝族の鷹文化—

## ◆六 蓑笠とその周辺◆

蓑笠考／西南中国の來訪神考—正月の子宝祈願—／伝承曼荼羅の時間観念

## ◆七 難題とその周辺◆

中国の姥捨伝承

伝承曼荼羅にみる難題の機能—五穀豊穫と子宝祈願—

伝承曼荼羅の災厄の物語—豊饒への祈り—

## ◆八 盤古と槃瓠の周辺◆

盤古神話の遠景—『盤古国と盤古神話』に寄せて—

千家峒と「女書」の里—湖南省江永県上江墟郷の民俗—

## ◆付録◆

2020/3/18



ISBN978-4-8382-3363-2

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

ご住所・お名前

●条件 ●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

ご担当者様名

中国神話の深層

ご注文数 冊

貴店印

# 大和言葉集

徳田和夫・菊地仁・小林健二 編著 A5判・242頁 定価：7500円+税

大和言葉とは、古歌から生成した恋の文句や、宮中での女房詞をいう。また、そこに遊戯的に派生した謎かけの文辞も含むものである。室町後期のお伽草子や、江戸初期の説経淨瑠璃にその用例を多く見る。かかる題の辞書も編まれ、類例が民間にも伝わってきた。

ここに解説と事例集を掲げ、代表的な一本を翻刻し、注釈をほどこした。付録編に他本翻刻、証歌・事項索引、関係論文・研究書目録を配した。以て、伝承文学の一斑ともした。

## 内容目次

恋のことばと謎かけ—「大和言葉」導き—

徳田 和夫

お伽草子・語り物にみる大和言葉・謎かけ事例集

徳田 和夫

底本書誌 付、参考A・B・C本略書誌 小林 健二

『大和言葉』翻刻・注釈・補注

主筆 菊地 仁 共同討議 徳田 和夫・小林 健二

・凡例

・翻刻・注釈・補注

・引用文献一覧

## 付録編

・A本（近世初期写本、一冊）翻刻

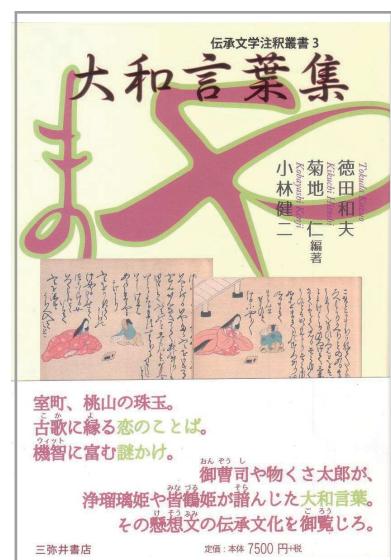
・B本（近世初期写本、一帖）翻刻

・底本・A本・B本 証歌索引

・底本項目索引

・『大和言葉』複製・翻刻・関係論文・研究書 目録

2020/11/12 発行



ISBN978-4-8382-3373-1

# 伝承文学注釈叢書2 豊後節系淨瑠璃集

安田文吉・安田徳子 校注

A5判・242頁 定価：7500円+税

淨瑠璃の段物や歌舞伎の道行、景事を語り、多彩で変化に富み、リズミカルな拍子と印象的な旋律で歌舞伎の中で高揚した一局面を担った。底本には最古本を選び、翻刻本文は詞章のみならず、ルビ・文字譜等可能な限り原本の再現を試みる。注釈は音楽性の高い本資料を鑑み、語句および語り口や曲節・文字譜について施す。

2020/6/17 発行



ISBN978-4-8382-3368-7

# 予章記

伝承文学注釈叢書1

佐伯真一・山内譲 校注

A5判・266頁 定価：5800円+税

伊予の『古事記』であり、『平家物語』であり、そして室町の現代史である。伊予中世史研究の基本文献。記紀的神話伝承や文書・文献の引用、創作などが混然一体となった河野氏の歴史叙述の方法に伝承の可能性を見出す。

2016/10/12 発行



ISBN978-4-8382-3306-9

## シリーズ続巻書目一覧

説教才学抄／筆結物語・十二類絵巻 // 神道集／医談抄・医家千字文注◆他

# 城郭の怪異

二本松康宏・中根千絵 編著

A5判・カバー装 222頁

定価：2750円本体：2500円

滅んだ城、滅んだ領主、滅んだ地主神への土地の人々の哀惜の念が宿る城郭の怪異。不思議な怪談や奇譚を伝える東西10の城を、歴史学と伝承学から見渡し、怪異の生成や伝承の背景を紹介する。歴史の裏に埋もれた城にまつわる「闇」の魅力が明らかにされる。

2021/6/24発行

## 目次

城郭の怪異を訪ねて ◇二本松康宏

会津若松城—怪異が導いた創建伝説 ◇小田倉仁志

駿府城—謡の呪いと狐、狸、封の怪 ◇中根千絵

浜松城から江戸城へ—徳川將軍家の闇 ◇堤 邦彦

松本城—二十六夜神の神秘 ◇二本松康宏

名古屋城—見守る権と天狗と狐たち ◇林 順子

伏見城—落城の記憶と血天井 ◇久留島 元

大阪城—豊臣家の怨霊 ◇北川 央

姫路城—変遷するオサカベ ◇三宅宏幸

松江城—伝説をつなぐ祈禱櫓 ◇菊池庸介

松山城—蒲生家の断絶と残された景色 ◇南郷晃子



ISBN978-4-8382-3384-7

# 疫病と日本文学

日比嘉高 編

A6判・カバー装 254頁

定価：2750円本体：2500円

個々の作品や各時代の分析を行い、総体的に歴史の変遷を中古から現代に至る千年のスパンで明らかにする。文芸の言葉が見えない疫病を「可視化」し、時代の中で疫病がもたらした社会変動と人の心や感性への影響がいかなるものだったのか個々の作品を通じてうかびあがらせる。

## 目次

はじめに 疫病と日本文学—千年の表現史を追う [日比嘉高]

2021/7/15発行

### ■疫病の今をよむ

パンデミック小説の地図を書く [日比 嘉高]

コラム 生き延びていくために

—金原ひとみ「アンソーシャル ディスタンス」と「腹を空かせた勇者ども」[飯田 祐子]

俳句と疫病—コレラとコロナウィルスの句を読む [藤田 祐史]

コラム 疫病と日本語 [宮地 朝子]

鬼は“そこ”にいる、しかし“それ”は遍在する—疫病とエクリチュールと [高木 信]

コラム 隠喩としての「戦争」、隠喩としての「埋葬」

—閻連科と方方の文学から疫病を考える [尹 芷汐]

### ■疫病をふりかえる

人喰い鬼と疫病神—「大正」を襲った「流行感冒」[島村 輝]

コラム 伝記にみる医師とコレラ [榎原 千鶴]

中世説話の「心」をもつ病—『今昔物語集』を中心に [中根 千絵]

コラム 疫病を表象する信仰の文学瞥見 [近本 謙介]

コロナとコロリー—幕末の江戸災厄体験記の奇書『後昔安全録』とその著者について [塩村 耕]

王朝文学における疫病 [大井田晴彦]



ISBN978-4-8382-3383-0

# 中世奥羽の自己認識

入間田宣夫著 46/ 上製本・定価 3300 円《本体 3000 円》

中世奥羽の言説空間に生きる人びとが京・鎌倉発の圧倒的な文化的影響に向き合う中でいかに自前の系譜認識をかたちづくり、自らのアイデンティティーを築き上げたのか。平泉藤原・津軽安藤（東）・伊達・和賀・閉伊・大江・柏山・戸沢・津軽ほか人々の換骨奪胎、反転・逆転のいとなみを明らかにする。

## 目次

- I 京・鎌倉の西南風が吹きよせるなかで
  - 1章 中世奥羽における系譜認識の形成と在地社会
  - 2章 「新羅之記録」を脱構築する—中世北方史の見直しによせて—
- II 語りもの文学から歴史学へ
  - 3章 奥羽諸大名家における系譜認識の形成と変容
  - 4章 津軽一統志における系譜認識の交錯
- III 人から神へ—本地物語における基本的なプロットについて—
  - 5章 岩木山と花若殿・安寿姫の物語
  - 6章 岩木山の祭神をめぐる研究史を振りかえって
  - 7章 鹿角四頭と五の宮の物語
  - 8章 塩竈大明神の御本地  
(付論) 菅江真澄の流儀
- IV 平泉伝説のゆくえ
  - 9章 伊達の平泉伝説
  - 10章 小萩観音の靈験譚と奥州国分荘の歴史学
  - 11章 平泉の姫宮と衣河殿—二人の謎の女性の物語—
- V 北方海域における境界儀礼と在地信仰の風景
  - 12章 人魚供養札の背景に
  - 13章 千葉大王御子の物語によせて

2021/7/9発行



ISBN978-4-8382-3385-4

# 歴史のなかの音

音がつなぐ日本人の感性

笠本正治著 46/ 並製本・定価 3080 円《本体 2800 円》

歴史の場で打ち鳴らす、戦乱の世に響き渡る人間が生み出す音。神の動き、異変や事件を伝える人間が作り出すことの出来ない音。

日本の歴史において音にはどのような意味と目的があったのか。中世から近・現代まで時代や地域に流れる豊かな音の世界を往来する。

## 目次

- 第一章 音への視点
  - 神社の鈴と仏壇のキン—身辺から考える過去と現在
  - 「伝える」手段としての音—戦国時代を中心にして—
- 第二章 鳴動と中世の音
  - 神と人をつなぐ音—中世の音と声—
  - 中世の音を探る—神出現の音を求めて—
  - 中世の一族意識と村—金井庵と夜泣石—
- 第三章 変化する音への意識
  - 中世の音・近世の音
  - 文学と音—島崎藤村「破壊」から—
  - 高野辰之の唱歌と音—地域の歴史と伝えるべきこと—

2021/7/2発行



ISBN978-4-8382-3387-8

# 神楽の中世

## 宗教芸能の地平へ

ダイナミズムと生命力が躍動する神楽の場をよみがえらせ神楽研究の壁を破る。神楽の迷宮に「宗教芸能」としての道筋を貫く。神楽と称される列島各地行事・祭りから、興味深く、かつ重要と思われる用語を選び考察を加えた「神楽詞華集」。豊潤な神楽の世界へ道しるべとしての試みが今始まる。

### 目次

2021/6/24発売 5/25発行

#### ◆提題に代えて◆

よみがえる中世の神事たち—備中吉備津宮の祭礼（山本ひろ子）

プロローグ／備中一宮・吉備津宮へ／吉備津宮の年中行事（上）／吉備津宮の年中行事（下）／遷宮と神事芸能／エピローグ

#### ◆神楽の成立とその歴史◆

佐陀神能をめぐる宗教者と祭祀—神能成立の過程を中心に（岡 宏三）

問題の所在／中世佐陀大社・神主家の特質と祭礼、芸能／室町期における佐陀大社と神楽／検校吉岡氏の禰宜職宮川氏の台頭／高宮社の主張と佐陀神能の成立

神子と修驗—黒森神楽をめぐって（神田より子）

はじめに／一 中世への視座／二 近世期の神子、修驗そして神楽／三 修驗と神楽／四 訴訟から見えてくるもの／五 神子の活動／まとめ

#### ◆神楽の庭へ◆

法者神楽の法脈—甲賀・油日神社、対馬・八幡宮、豊後・柞原八幡宮（福田 晃）

はじめに／一 近江、甲賀郡總社「油日神社」／二 対馬・一宮の「八幡宮」／三 豊後・一宮の「柞原八幡宮」／おわりに—叢山穴太流と両部神道流神楽

天龍川水系の神楽—オコナイと霜月祭から（櫻井弘人）

一 中世的な芸能の宝庫／二 霜月神楽の季節・日時・時刻／三 湯立／四 面形舞とシズメ／五 祭りの意味づけと数／六 霜月神楽と立願／おわりに

#### ◆神楽の担い手たち—法者と呪師◆

両部神道と神楽—「法者」の伝承を辿る（福田 晃）

はじめに—西日本における「法者」の伝承／一 両部神道の誕生／二 両部神道流神楽の成立／おわりに—両部神道と諸国一宮

呪師の芸能と神楽—備前一宮祭礼を中心に（宮嶋隆輔）

はじめに／備前一宮祭礼と郷村祭礼／一宮・御田植神事の御幡行列と伝供／神子・樂頭による御神楽と神主の祈念／呪師走りと反閑について／王の舞と呪師芸能／かいなさしについて／備前一宮・御田植神事の特徴／在郷の神子・法者による神楽／一宮の神子・樂頭の性格／遷宮出仕と反閑／〈一宮の呪師〉と神楽

#### ◆宗教芸能としての神楽◆

「鐘巻」のドラマトゥルギー—能と早池峰神楽をめぐって（山本ひろ子）

はじめに—『法華驗記』と『今昔物語』の道成寺説話／I 「道成寺縁起」と能「道成寺」／II 早池峰神楽「鐘巻」の芸能的達成

仮面の呪術・祭祀・芸能としての神楽へ（松尾恒一）

一 世阿弥の猿楽能神楽起源説／二 寺院の儀礼、芸能の猿楽能／三 魁魅魍魎を鎮める宗教儀礼／四 神楽における鎮めの呪法／五 世阿弥の猿楽能神楽起源説、再考／六 唐代の仏教儀礼、仏菩薩への祈願と民俗神の祭祀

#### ◆研究展望◆

神楽研究の再構築へ向けて（鈴木正崇）

はじめに／一 鎮魂とは何か／二 鎮魂の近代／三 鎮魂と神楽／四 近代における神楽の創出／五 中世神楽をめぐる諸問題／六 浄土神楽をめぐって／七 『神楽源流考』への疑義／八 再び中世神楽へ／九 死者供養の神楽／十 神楽研究の可能性

#### ◆神楽詞華集 小さなキーワード集の試み◆

一 霜月神楽からおくないへ／二 西国の神楽から／三 舞殿と装置／四 儀礼と呪法／五 土地の精霊と異神たち



ダイナミズムと生命力  
躍動する神楽の場へ

神の迷宮に「宗教芸能」としての道筋をつらぬく  
豊潤な世界へと導く「神楽詞華集」という挑戦

定価：本体 6800 円+税

三井書店

ISBN978-4-8382-3386-1

# 桃太郎の発生

世界との比較から見る  
日本の昔話、説話

花部英雄著 A5判・カバー装 326頁 定価：3080円本体：2800円

日本各地に歴史的事実として地名や関係物が保存・顕彰されながらその素性がはつきとしない「桃太郎」。説話や話型、素材を軸にバラエティー豊かに発生、成長する変化の姿を、日本・アジア・ヨーロッパなどの類似のストーリー展開を持つ話と比較し、世界から見た日本の昔話の特徴を素描する。

## 目次

### I 桃太郎の内と外

#### 「桃太郎」の発生

二つの「桃太郎の誕生」／「桃太郎」伝承の趨勢／「鬼の子小綱」と「桃太郎」／

「桃太郎」の近世、近代

#### 「鬼ヶ島」の形成

昔話の「鬼ヶ島」／「鬼ヶ島」の形成I／「鬼ヶ島」の形成II／「鬼ヶ島」の二面性

#### 「桃太郎」の素性

桃太郎研究概観／口頭伝承の桃太郎／「猿蟹系桃太郎」と文芸／

仇討モチーフの伝承／ アジアの討伐モチーフ

#### 「桃太郎」世界へ行く

「桃太郎」の先行研究／型破りの桃太郎／「力太郎」と「六人男世界歩き」／

桃太郎と AT513「援助者たち」

#### 「桃太郎」から見る昔話研究史

問題の所在／江戸期の「桃太郎」研究／明治期の口演童話／大正期の童話研究／

昭和の民俗学的研究／昔話の比較研究法

### II 異類婚姻譚の国際比較

#### 「蛇媚入」の国際比較

先行研究概観／「天稚彦草子」と「グビドーとフシケー」／

世界の異類婚姻譚の比較／ 日本の「蛇むこ入」の解釈

#### 異類婚姻譚における殻・皮・衣とはなにか

人間界を訪れる異類／異類との婚姻と離別／変身としての殻・皮・衣／「蛙息子」の靈性

2021/4/14発売 3/31発行



定価：2800円+税

三井書店

ISBN978-4-8382-3382-3

#### 「一寸法師」と「田螺息子」

御伽草子「一寸法師」と武家の時代／昔話「一寸法師」のサブタイプ／世界の「親指小僧」と「一寸法師」と「田螺息子」

#### 「嫁の輿に牛」の風土性

日本の昔話「嫁の輿に牛」と説話・物語／世界の「嫁の輿に牛」の展開／昔話「嫁の輿に牛」の国際比較

### III 昔話、説話モチーフの国際比較

#### 昔話「藁しべ長者」の主題と形式

「藁しべ長者」の先行研究／日本の「藁しべ長者」のサブタイプ／世界の「藁しべ長者」の交換の種類と形態／

日本の「藁しべ長者」の源流と伝播

#### アジアの「猿地蔵」

先行研究と問題の所在／国内における「猿地蔵」の伝承／アジアの中の「猿地蔵」／比較から見えてくる「猿地蔵」

#### イソップ寓話と「鳥獣合戦」

イソップとイソップ寓話集／イソップ寓話集の「鳥獣合戦」／「変節」をめぐる動物たちの話／イソップ寓話と戦争

#### 「走れメロス」の説話世界

「猶予／人質」モチーフとその類話／ピュタゴラス派とギリシャ神話／アラフ世界の「猶予／人質」モチーフ／『千夜一夜物語』とイスラーム世界

#### 「西行発心のおこり」の内と外

注釈と口承の「術婆迦説話」／口承における「西行発心譚」／『大智度論』「術婆迦説話」の周辺／「枕物語」と説話の機能

お問い合わせ

三井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miayishoten.co.jp>

FAX 03-3456-0346

桃太郎の発生

ご注文数  
冊

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください

送り先・書類の宛先

# 日本幽霊画紀行

## 死者図像の物語と民俗

堤 邦彦著 A5判・カバー装・246頁 定価：2800円+税

夏のお盆の一日、たまたま訪れた古寺の本堂の掛かっていた幽霊画を目にする。無名の画家の作品であっても死者を迎える盆の空間に融け込み、異彩を放つ幽霊画の存在感。その源泉には、絵をめぐる幽霊済度の物語や、掛け幅自体を雨乞いの呪物に使った仏教民俗の歴史が潜む。

本書は美術史の見方を離れて、幽霊画の物語と民俗を追いかける。東北から九州に及ぶ各地のお寺が所蔵する隠れた名品を取り上げ150点のカラー図版と合わせて解説する。死してなお子を育てる「子育て幽霊図」、魔除けになった血みどろの「うわなりうち図」、伝円山応挙の絵をめぐる講談の世界など。

### 内容案内

2020/9/10刊行

#### 第一章 寺と幽霊画

I 高僧絵伝から幽霊画へ—死者救済の思想と図像化—

コラム1 東南アジアの幽霊女房

II 子抱き幽霊図の原風景—産死供養の図像—

III 円山応挙伝説考—幽霊画をめぐる「物語」の成立—

コラム2 青楼の絵師・祇園井特

#### 第二章 血族の証明

I 幽霊画の秘密—金沢・鶴林寺—

II 失われた絵の帰還—会津美里町松沢寺—

III 奥州四十九院家の記憶

コラム3 幽霊の交情

#### 第三章 寺蔵幽霊画を巡る旅

I みちのく幽霊画紀行—呪具としての死者図像—

コラム4 絵師のユーモア・自像幽霊画

II 幽霊画のまち—弘前市禪林街—

III 御用絵師の女靈救済

IV 薄幸の女靈図—丹後夕日ヶ浦—

V 「産女の幽霊」を祀る—長崎光源寺—

コラム5 災害と幽霊画

#### 第四章 幽霊画と江戸怪談

江戸はなぜ女靈の時代となったのか—後妻打ち怪談をてがかりとして—

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

送り先・書類の宛先

●条件●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

日本幽霊画紀行

江戸の高僧伝説

異界百夜語り

俗化する宗教表象と明治時代

ご注文数  
冊

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください



ISBN978-4-8382-3372-4

#### 関連書籍

江戸の高僧伝説 2800円

異界百夜語り 1800円

俗化する宗教表象と明治時代

—縁起・絵伝・怪異—2800円

# 東海道五十三次をよむ

鈴木健一編 A5判・カバー装 288頁 定価：2800円+税

温泉と関所、富士山の絶景、七里の渡しの船旅、難所鈴鹿峠越えなど。日本橋を出発し三条大橋まで見所満載の東海道五十三次。江戸文学のに登場する五十三次の姿を追い、各地にまつわる歴史・美術・宗教、さらに江戸以前の『伊勢物語』や『更級日記』や近代の東海道など、旅するかのごとく訪れる。

## 目次

序 ようこそ、東海道の旅へ	鈴木健一
第一章 江戸時代I（東京・神奈川）	
日本橋の出立は朝が早い	藤澤 茜
遊行寺の門前町藤沢宿ところどころ	関原 彩
小田原のういろうは何に効くのか？	古庄るい
箱根、温泉と関所	壬生里巳
コラム 五十三次さまざま 1東京～神奈川	
第二章 江戸時代II（静岡・愛知）	
石川丈山の富士山詩を読む	鈴木健一
薩埵峠から富士山を望む	田代一葉
名物「十団子」とは？	永田英理
御油宿、弥次さん喜多さんと狐	藤井史果
コラム 五十三次さまざま 2静岡～愛知	
第三章 江戸時代III（三重・滋賀・京都）	
七里の渡し、どんな船旅だったのか？	大関 綾
おかげ参りと抜け参り	吉丸雄哉
難所鈴鹿峠越えに行く	久岡明穂
ついに三条大橋を渡った！	田中 仁
コラム 五十三次さまざま 3三重～滋賀～京都	
第四章 江戸時代以前・以後の東海道	
『伊勢物語』「東下り」	鈴木宏子
『更級日記』	千野裕子
『海道記』『十六夜日記』の海辺	毛利香奈子
岡本かの子「東海道五十三次」	赤井紀美

## 関連書籍

鳥獣虫魚の文学史	日本古典の自然観
1 獣の巻 2 鳥の巻 3 虫の巻 4 魚の巻	定価：各2800円+税
天空の文学史	
1 太陽・月・星 2 雲・雪・風・雨	定価：各2800円+税
海の文学史	定価：2800円+税
浜辺の文学史	定価：2800円+税

鈴木健一

2020/10/30刊行

[編] 鈴木健一



箱根の温泉と関所、富士山の絶景、七里の渡しの船旅、難所鈴鹿峠越えなど  
日本橋を出発し三条大橋まで見所満載の東海道五十三次。

江戸文学のなかの五十三次。各地にまつわる歴史・美術・宗教、さらに江戸以前の『伊勢物語』や『更級日記』や近代の東海道はどんなふうに描かれたのか。  
ガイドブックとは異なる視点から知識を蓄え、  
江戸時代にタイムスリップした旅へと誘う。

定価：本体 2800円+税

三井書店

ISBN978-4-8382-3374-8



# 幸若舞の展開 芸能伝承の諸相

須田悦生著 A5判・カバー装・388頁 定価：9700円+税

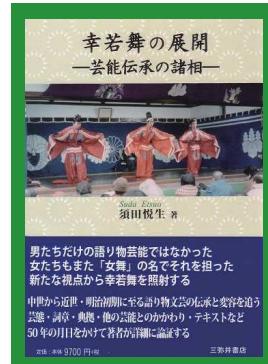
中世から近世・明治初期に至る語り物文芸の伝承と変容を、芸態・詞章・典拠・他の芸能とのかかわり・テキストを詳細に紐解き、新たな視点から照射する。

内容案内

- 第1章 幸若舞の形成／第2章 幸若舞芸能集団の活動／
- 第3章 幸若舞作品の構成／第4章 『平家物語』と幸若舞作品／
- 第5章 『曾我物語』と幸若舞作品／第6章 戦国軍記と幸若舞／
- 第7章 古淨瑠璃等と幸若舞／第8章 「女舞」と幸若舞の変容／
- 第9章 甲斐で書写された幸若舞テキスト
- 第10章 キリストン資料と幸若舞テキスト

索引（曲名・項目名）

2018/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3342-7

# 在外絵入り本 研究と目録

山下(高橋) 則子編 B5判・上製・388頁 定価：本体13800円+税

近世絵入り本を多数収録する、在伊古典籍目録を厳密に作成し、近世絵入り本研究進展のためのツールである。さらに在外稀観本を利用した先進的研究論考7本を付載し、海外に所蔵される絵入り本の研究上の有意性を示した。

内容案内

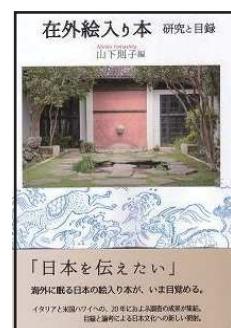
- 序（ロバートキャンベル）
- はじめに（山下則子）
- 第一部 ホノルル美術館（リチャード・レインコレクション）  
等に所蔵される在外絵入り本—善本の紹介と考察—

- ◇絵入折手本（浅野秀剛）
- ◇『たまひろひ』と『山城名勝風月集』、そして『都名所画譜』（伊藤善隆）
- ◇桃隣舎文辰著『池西言水四季独吟評釈』について（伊藤善隆）
- ◇ホノルル美術館蔵黄表紙『積孝雪振袖』（『敵討政五郎話』）影印・翻刻（二又淳）
- ◇レインコレクション『獸絵本つくし』の研究（山下則子）
- ◇ボストン美術館蔵、北斎筆、未刊読本挿絵『大日本將軍記初輯』について（浅野秀剛）
- ◇マリオ・マレガ文庫蔵黒本『眉間尺』（山下則子）

## 第二部 在伊日本古典籍—目録と解題—

- ◇サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録
- ◇「サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録」補遺 碑文谷教会旧蔵書目録
- ◇ヴェネチア東洋美術館所蔵日本書籍及び関連資料目録
- ◇ナポリ国立図書館ルッケージ・パッリ文庫所蔵日本古典籍目録
- ◇ジェノヴァ市キオッソーネ東洋美術館 善本解題・目録
- ◇在伊日本古典籍目録初出雑誌一覧
- ◇在伊日本古典籍目録 索引

2019/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3355-7

# 絵解く 戦国の芸能と絵画 描かれた語り物の世界

小林健二編 B5判・カバー装・216頁 定価：3500円+税

室町後期に語り物芸能として愛された幸若舞曲。16世紀末には絵巻や絵本などの絵入り物語として広く享受された。

語り物芸能が絵画化し、流布する様相と文化史的意義を、国文学と美術史学の視点で解明。カラー版で紹介する。

未紹介資料として、個人蔵『源義経一代記図屏風』、手錢記念館蔵『烏帽子折物語絵巻貼付屏風』を収録。巻末に「幸若舞曲絵入り本一覧」を付す

## 内容案内

2020/3/19刊行

### ◆序論 描かれた語り物の世界

『源義経一代図屏風』を読む 小林健二

手錢記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻 稲沢里

### ◆平家物語図扇面画帖を読む

海の見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」について

—場面解釈と本文離れをめぐる検討— 鈴木彰

江戸時代前期の平家物語図扇面について

—海の見える杜美術館所蔵「平家物語扇面画帖」を中心に— 龍澤彩

### ◆幸若舞曲・古淨瑠璃を描く

語り物系絵巻をめぐって—附『堀江物語絵巻』断簡四枚紹介— 石川透

ベルリン国立アジア美術館蔵《烏帽子折絵巻》—分析と分類— 酒井公子

江戸前期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作

—「大織冠」と「敦盛」を例として— 恋田知子

風俗表現と物語絵—『むらまつ』の場合— 斎藤真麻理

### ◆絵師と筆者

狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作 谷川ゆき

作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について 下原美保

賀茂別雷神社若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納 海野圭介

### ◆付篇

幸若舞曲絵入り本一覧



ISBN978-4-8382-3364-9

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

送り先・書類の宛先

FAX 03-3456-0346

ご注文数  
冊

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください

# 室町物語の形象 怪奇ロマンとユーモア

沢井耐三 著

A5判・上製・374頁 定価：本体8800円+税

妖怪や本地物、異類婚など様々な「怪奇」と、常識はずれや誇張、言葉遊び、風刺などの辛辣でブラックな「笑い」を軸に、豊饒、多岐な室町のお伽草子世界の魅力に迫る。

## 目 次

2020/1/10 刊行

### 第Ⅰ章 怪奇と風雅の間

『うたたねの草子』—二人同夢の怪異と浮舟残像—

『鼠草紙』—人獣交姦の悲劇、隠された身上書—

『浅間の本地』—さまよえる物語の中世・近世—

### 第Ⅱ章 説話的空間

『狐の草子』—狐媚と賀陽良藤説話—

『幻夢物語』—稚児の敵討と枯骨報恩説話—

大阪市立美術館蔵『化物草紙』—絵画化された『今昔物語集』の怪奇説話—

『音なし草紙』再論—親王とは誰か？教訓か、艶笑か—

### 第Ⅲ章 異類の小宇宙

『ふくろふ』—艶書における謎々とレトリック—

### フクロウ物語の系譜

—『鴉鷺合戦物語』・『ふくろうの草子』・『あだ物語』—

『鼠猫論』—猫と鼠、火花散らす論争—

『医文車輪書』—戦国武将の医術とユーモア—

『鴉鷺合戦物語』—空想と風刺のいくさ物語—

『精進魚類物語』—流布本再評価・山科言継本の周辺—

### 第Ⅳ章 歴史と文学の間

『見聞諸家紋』編者考—「石井康長」という人物について—

『家忠日記』の戯画—一撃甕救児図・文字絵の人丸ほか—

物売りの呼び声—「菜かう」「菜さう」「菜かはう」—

『永正五年狂歌合』注解—困窮する公家たちの自嘲のうた—

### 第Ⅴ章 資料翻刻

大阪市立美術館蔵『化物草紙』

『鳥物語』(『ふくろふ』)

『浅間由来記』(『浅間の本地』) 架蔵

『武田実記』愛知県新城市・鳳来寺蔵



ISBN978-4-8382-3358-8



## 室町物語研究 絵巻・絵本への文学的アプローチ

沢井耐三 著 A5判・390頁・定価：8400円+税

成立・読者層の異なる短編の物語作品を丁寧に読み解き、物語世界に表現される中世の思想や民俗・文化、人々の生活の様相を垣間見る。

## 室町物語と古俳諧 室町の「知」の行方

沢井耐三 著 A5判・470頁・定価：10000円+税

中世、室町時代に生まれた知的な「笑いの文学」世界を探求する、室町末期の下克上の価値観を反映して生まれた俳諧文学の系譜を、『和漢狂句』から貞徳俳諧初期に探る。巻末には初の『筆結の物語』全文翻刻をはじめ四種の翻刻資料を収載。

# 昔物語治聞集

中根千絵・加美甲多・久留島元 編著

A5判・並製・196頁 定価：本体2700円+税

貞享元年(1684)に出版された説話集。内容は『宇治拾遺物語』と『古今著聞集』から説話を抽出し編纂しなおしたもの。元禄14(1701)年板『昔物語治聞集』刊本6巻7冊(東北大学附属図書館「狩野文庫」)を底本とする。江戸時代初期に流行した軍記物語の登場人物や物、身近な古社の由来、『和漢朗詠集』などの文化的教養を面白く取り入れられることをもぐろんに編纂されたと思われる。近世における、説話への興味・関心、連想の在り方をうかがい知る重要な書物の翻刻本文と全ての挿絵を公開する。

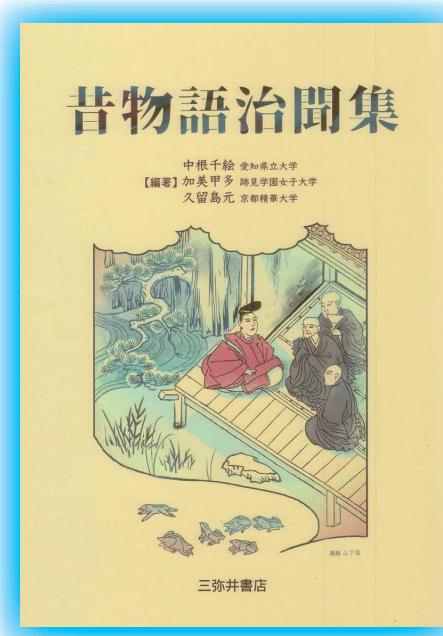
## 目次

凡例／まえがき／解説／序から巻7／あとがき

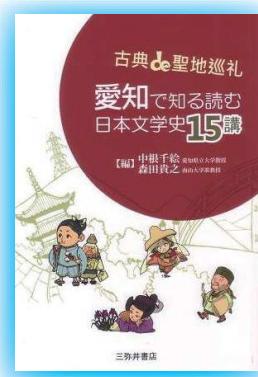
### 1例:巻1目録

目録 2020/10/8 刊行

- 第一 上総守時重日吉の神感に預る事(聞7)
- 第二 水無瀬山の池人とりの事(聞603)
- 第三 哥の徳により風波の難をのがれし事(聞165)
- 第四 陽成院ばけものゝ事(治158)
- 第五 広貴妻の訴により閻魔王宮へめさるゝ事(治83)
- 第六 ぬすびと脣築を感じる事(聞429)
- 第七 武徳殿ばけものゝ事(聞589)
- 第八 修行者百鬼夜行にあふ事 (治17)
- 第九 三河といふ童発心の事(聞323)
- 第十 法花経聴聞する猿の事(聞680)
- 第十一 双六の口論にて人をころす事(聞504)
- 第十二 あづま人生贊をとゞむる事(治119)
- 第十三 山門の僧鬼になる事(聞495)
- 第十四 絵仏師家の焼るをみてよろこぶ事(治38)
- 第十五 蛇針におそれし事(聞694)
- 第十六 浄藏法師前生の屍にあふ事(聞46)
- 第十七 御堂関白殿の犬晴明等きとくの事(治184)
- 第十八 雲客ふな岡にゆきて虫ふく事(聞587)
- 第十九 清水寺の額彩色で不思議ある事(聞290)
- 第二十 春日の御告にて伊房額を書事(聞293)
- 第二十一 高野大師を五筆和尚といふ事(聞293)
- 第二十二 虎の鰐をとる事(治39)
- 第二十三 道命阿闍梨いづみ式部の許にて読経五条の天神聴聞の事(治1)
- 第二十四 空也上人念佛すゝめ給ふ事(聞47)
- 第二十五 同き上人の臂觀音院僧正いのり直す事(治142)



ISBN978-4-8382-3371-7



## 改訂版 愛知で知る読む日本文学史15講 古典で聖地巡礼

中根千絵・森田貴之 編

46判・216頁・定価：1800円+税

### 【目次】

- 第一講 熱田 「日本書紀」 / 第二講 引馬野 「万葉集」 / 第三講 古渡 「日本靈異記」 / 第四講 八橋 「伊勢物語」
- 第五講 国府 「古今著聞集」 / 第六講 犬頭神社(三河) 「今昔物語集」 / 第七講 兔足神社 「宇治拾遺物語」
- 第八講 野間 「平治物語」 / 第九講 阿波手の杜 読曲「反魂香(不逢森)」 / 第十講 津島 狂言「千鳥」
- 第十一講 甚目寺 室町物語「姥皮」 / 第十二講 矢作 古淨瑠璃「淨瑠璃御前物語」 / 第十三講 伊良湖岬 「笈の小文」
- 第十四講 清洲 「絵本太閤記」 / 第十五講 有松・鳴海・笠寺 「東海道中膝栗毛」

好評  
二刷り出来

# 国語教科書の定番教材を検討する！

## 教科書でつくられる日本人の教養

東京学芸大学石井正己 編 A5判・カバー装・208頁 定価：1800円+税

小・中・高校の国語教科書に長期にわたり掲載されてきた、基本の「定番教材」を国公立・私立をまじえた現役教師と研究者が「作品の成立・刊行」「教科書採択の歴史」「作品の研究」「教材の評価」「関連する作品」「新しい読みの提案」というテーマを押さえ最新の研究成果をもとに、総合的にとらえなおしたはじめての取り組み。

現場の教育者のみならず、国語の授業を受ける学生や保護者、作品に身近な図書館関係者などへ新風を吹き込む試みとしての一書。授業では知りえなかった発見へと誘う。

### 【目次】

なぜ国語教科書の定番教材を検討するのか（石井正己）

#### 小学校編

おおきなかぶ—累積昔話の構造を意識した授業へ（加藤康子）

いなばの白うさぎ—義務化された神話教育の曖昧さ（石井正己）

かさこじぞう■岩崎京子■—作者が伝えようとする「清福」の思想（加藤康子）

百人一首■藤原定家撰■—教師の教養が授業の基礎になる！（石井正己）

スイミー■レオ・レオニ■—アイデンティティー探しの物語（井上陽童）

やまなし■宮沢賢治■—「イーハトヴ童話」として捉える（大澤千恵子）

ごんぎつね■新美南吉■—ごんの真心の行方を考える（井上陽童）

一つの花■今西祐行■—「一輪だけのコスモス」に託された願い（井上陽童）

白いぼうし■あまんきみこ■—事実の奥の真実を垣間見る物語（大澤千恵子）

故事成語—漢文学習の導入と日本の言語文化の意識化（松原洋子）

#### 中学校編

竹取物語—メディアによる享受と教室での読み（田中成行）

平家物語—章段単独で読む偏りを越える（出口久徳）

徒然草■兼好法師■—繰り返される「つれづれなるままに」（田中俊江）

万葉・古今・新古今—惚れさせる内容の大転換はできたか（愛甲修子）

おくのほそ道■松尾芭蕉■—継続して採録された幸せな作品（手塚翔斗）

走れメロス■太宰治■—群衆・少女に透けるアイロニー（赤星将史）

故郷■魯迅■—新たな「私」の捉え方（数井千春）

少年の日の思い出■ヘルマン・ヘッセ■—語りの理論にもとづいた解釈（川嶋正志）

現代詩—吉野弘を視座に概観する（疋田雅昭）

春望■杜甫■—日本文化に与えた影響の大きさ（松原洋子）

#### 高等学校編

伊勢物語—和歌の特性と散文の語りが生み出す物語（水野雄太）

源氏物語■紫式部■—切り出された教材の可能性（植田恭代）

更級日記■菅原孝標女■—物語へのあこがれを語る物語作家（中村勝）

雨月物語■上田秋成■—他者理解の困難さを示す物語（手塚翔斗）

舞姫■森鷗外■—同一性の基盤であり続ける他者（小仲信孝）

こころ■夏目漱石■—平凡な男の死を特別に見せるレトリック（伊藤かおり）

羅生門■芥川龍之介■—文学的な〈読みの方法〉を学ぶ意義（多比羅拓）

山月記■中島敦■—次に虎になるのは誰か？（安松拓真）

俳句・短歌—正岡子規・与謝野晶子を例として（菅俊輔）

史記■司馬遷■—人生訓や格言が溢れる（松原洋子）

音読の効果を再認識する（白勢彩子）

定番教材を脱構築するために（石井正己）

教科書採択データベース案内（安松拓真）

2021/1/20刊行



ISBN978-4-8382-3375-5

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

ご住所・お名前

●条件●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

ご担当者様名

ご注文数

冊

貴店印